

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立九条東小学校 学校協議会

1 総括についての評価

学校が安心・安全な居場所になるよう、教職員全体であたたかい学校づくりを進めてもらっている。今後も子どもたちにとって楽しい学校になるようお願いしたい。学力・体力の向上の面においても、教職員の指導力向上を図り、児童が「わかる・できる」授業展開をしてもらっている。少人数の特性を生かし、子どもたちに寄り添った指導・支援をしてもらっていると感じる。体力においては、さらなる体力向上を目指し、取り組みをお願いしたい。ICT機器を用いた授業展開が進んでいることも、評価できる。効果的にICTを取り入れた学習展開を継続して行ってもらい希望する。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89.3%以上にする。

経年調査 90.3%

○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

経年調査 97.2%

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

経年的に比較し国語・算数ともポイントを向上させていない学年はあるが、全国よりは上回っている。

○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を62.3%以上にする。 経年調査 65%

○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.7%以上にする。 経年調査 65.8%

年度目標：学びを支える教育環境の充実

○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%（大阪市の令和7年度の目標）以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。）

1月末 86.2%

○ 第二期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を75.1%以上にする。

1月末 基準1 93.75%

- ・安全・安心な学校づくりの面で、目標を達成できた。今後も教職員全体で子どもを見守っていく。
- ・異学年交流を進めてきたことが、仲間づくりにつながった。今後もさらに継続していく。
- ・引き続き授業展開を工夫し、誰一人取り残さないための努力・工夫を継続する。
- ・話し合い活動を効果的に学習に取り入れ、話し合いを通じて考えを深めたり広げたりすることができるよう、意識していく。
- ・「学習用端末を活用していますか」に対して、肯定的回答率が100%を示すほど、ICT活用が進んでいる。今後も継続していく。教職員のICT活用能力もさらに伸ばせるよう、工夫する。
- ・教職員の平均時間外勤務時間を大幅に減少することができている。

3 今後の学校園の運営についての意見

児童の安心・安全を第一に今後も学校運営をお願いしたい。子どもたちが楽しく、自分らしく学校生活が送られるよう、今まで通りあたたかい学校運営を願う。学力に関しては、例年と変わらず結果につながっているので、今後も学力向上を目指した授業展開を期待する。ICTの積極的活用により、子どもたちが意欲的に学習に取り組んだり、子どもの実態を把握したりできているところがわかり、安心するところである。教職員の働き方改革においても、推進されていることがわかったので、このまま進めてほしい。数年後の閉校を見据えて、スムーズに子どもたちが環境の変化に溶け込めるよう、今後も願います。